

第7回「大阪ビジネス交流クラブ」 報告



大阪外国企業誘致センターは、6月2日、「第7回大阪ビジネス交流クラブ」を開催。「福島第一原子力発電所事故の我が国及び国際経済への影響について」と題する講演会は、同クラブのメンバーである大阪への進出企業や外国公館・経済団体など約70名の参加者らの高い関心を集めた。

灘本正博・大阪商工会議所専務理事が主催者挨拶で、「今こそ、震災の影響を受けていない大阪・関西が日本全体を支えていく」と決意を表明するとともに、「是非とも海外へ正しい情報の発信を」と各国の参加者をお願いした。

続く講演会で、経済産業省の中尾泰久・通商交渉官が福島第一原発の現状と復興に向けた取り組みについて、豊富な資料や国際機関の発表などを交えながら、最新の情報を紹介した。特に、大阪の放射線の数値は原発の事故後も変化がないことをデータで示すなど、関西圏は全く影響されていないことを強調した。あわせて、今後の自然エネルギー発電比率の向上における大阪・関西の企業の役割に期待を寄せた。

交流会では、大阪府の杉本安史・商工労働部長による挨拶のあと、企業同士の活発な交流が繰り広げられた。

【 開 催 概 要 】

日時： 2011年6月2日（木）14：00～17：00 於：ニューコクサイ「末廣の間」

主催： 大阪府、大阪市、大阪商工会議所、ジェトロ大阪本部

共催： 近畿経済産業局

◆講演会

- ・「福島第一原子力発電所事故の我が国及び国際経済への影響について」
経済産業省通商交渉官 中尾 泰久 氏
- ・大阪府、大阪市、ジェトロ等の震災への取り組み発表

◆交流会

- ・大阪府商工労働部長 杉本 安史 氏によるご挨拶
- ・自由懇談

